

弘前大学教育学部研究紀要

ク ロ ス ロ ー ド

第 26 号(通巻第66号)

CROSSROADS

Journal for Educational Research
Published by the Faculty of Education
Hirosaki University

No. 26 (Old Series 66)

March 2022

2022年3月

弘前大学教育学部

Hirosaki, Japan

目 次

研究論文

- 保健学習における授業改善の実際 …………… 上野 秀人, 他 (1)
- 大学オンラインバスケットボール授業実践報告 …………… 東條 佳史, 他 (15)
- 新型コロナウイルス感染症流行時における歯科保健教育
～令和2年度五所川原市養護教員会の教育実践～ …………… 新谷 ますみ, 他 (23)
- コロナ禍における「学校生活体験実習Ⅰ(小学校)」覚書 …………… 大谷 伸治, 他 (33)
- SNSにおけるいじめの未然防止プログラムの基礎的検討
—社会的情報処理モデルの「解釈」のStepに
焦点を当てて— …………… 吉原 寛 (45)
- 高等学校におけるネット型：バレーボール授業実践について…… 澤田 有里, 他 (53)
- 高等学校におけるゴール型：バスケットボールの授業実践
—運動有能感に着目して— …………… 木村 郷, 他 (61)
- 図画工作科とプログラミング教育で育てる資質・能力を相関的に高める題材の開発
～教科の見方・考え方を働かせる
カリキュラム・デザインを通して～ …………… 八嶋 孝幸 (69)
- 日本美術鑑賞学習における「深い問い」に関する一考察
—尾形光琳〈紅白梅図屏風〉の授業実践を中心に— …………… 蒔 苗 靖子 (79)
- 道徳科授業力向上に向けての教員研修のあり方についての考察
～ローテーションTT道徳の実践を通した
OJTの取り組みから～ …………… 佐々木 篤史 (91)
- 知的障害児とワタ栽培・紡績に取り組む方法 …………… 小枝 洋平, 他 (101)
- 幼児期からのインクルーシブ・スポーツ体験と地域教育相談を組み合わせた
“きつぱークとみへの”実践のこれまでと今後の課題 …………… 中嶋 実樹, 他 (109)
- 特別支援学校(知的障害)に在籍する小学部児童への「学習指導要領評価表」を
活用した目標設定と評価に関する検討
—生活単元学習を中心に— …………… 加賀谷 紀, 他 (117)
- 特別支援学校(病弱)の自立活動を主とした教育課程に在籍する
生徒の各教科(知的障害)等の指導に関する検討
—「学習指導要領評価表」の活用を通して— …………… 佐藤 千佳子, 他 (127)
- 特別支援学校(肢体不自由)の知的障害教科代替の教育課程に在籍する
児童の「学習指導要領評価表」を活用した指導目標の設定と評価及び
授業づくりに関する検討
—指導計画作成と生活単元学習の授業実践を通して— …………… 石岡 徳人, 他 (137)

記 録

- 教育実践協同研究推進委員会活動記録 …………… (147)
- 2021年度(令和3年度)研究会名簿 …………… (149)
- 研究会活動記録 …………… (150)
- 教育実践協同研究通信 …………… (154)

弘前大学教育学部研究紀要クロスロード刊行および投稿規定について

弘前大学教育学部教育実践協同研究推進委員会

投 稿 規 定

1. 本誌には教育実践に関する研究論文並びに報告、紹介などを掲載する。
2. 発行は原則として毎年3月の年1回とし、A4判約150ページとする。
3. 原稿募集の時期は10月とし、締め切りは概ね1月末とする。
4. 論文の著者には本学部または附属学校園の教員が含まれていなければならない。
5. 原稿は、別に定める執筆要領に従って作成するものとする。
6. 論文等は、原則として、図表（写真、楽譜などを含む）を含めて、1編につき刷り上がりで10ページ以内とする。
7. 掲載順序など編集に関することは、本委員会が決定する。なお、論文等に関して疑義などが生じた場合、本委員会は著者と協議し、必要があれば著者に修正を求めることがある。
8. 校正は原則として著者が行い、3校までとする。校正は印刷上の誤りの訂正のみとし、文章や図表の差し換え、追加などは認めない。
9. 超過ページ、カラー図表などの印刷について、特に費用を要するものはその著者の負担とすることがある。
10. 刊行経費が予算を超過した場合、超過分を著者の按分負担とする。
11. 別刷を希望する場合は投稿の際に必要な部数を申し出る。料金は別に定め、経費は著者が負担する。
12. 以上の年1回の定期発刊の他、特集号を発行することがある。特集号は、拡大編集委員会を組織し、企画および編集にあたるものとする。
13. 本誌に掲載された論文の著作権は当該論文の著者に帰属する。ただし、論文は「弘前大学学術情報リポジトリ」に掲載して公開するものとする。
この規定は、2020年10月1日から施行する。

執 筆 要 領

1. 提出原稿には、表紙、要旨、本文及び引用・参考文献が揃っていないといけない。
2. 表紙には、論文等の表題、著者名及び所属を和英両語で記載する。なお、英語にかえて、他の汎用性の高い言語で記載してもよい。
3. 要旨は本文の前に入れ、和文の場合は400字以内、欧文の場合は120語以内とする。
4. 原稿は、原則として、A4判の縦置き横書きとしワープロを使用して作成する。和文の場合は文字10.5ポイント、1ページあたり48字46行、上下、左右の余白は20mmとする。欧文の場合も1ページ46行を原則とする。原稿は図表を組み入れたPDFファイルと編集可能な電子ファイル（Word、一太郎など）の両方を提出する。メディアと提出方法は編集担当者が別に定める。
5. 文献の引用は、原則として本文中の該当箇所の右肩に片括弧付き番号をつけて表示し、出典は本文末尾に一括して記載する。その際、雑誌の場合は著者名、論文等の表題、雑誌名、巻号、ページ、発行年を、単行本の場合は著者名、書名、出版社、ページ、発行年を記載する。
6. 原稿の提出に際しては規定の「投稿申込書」を電子ファイルで添付する。

編集

教育実践協同研究推進委員会

広報・情報発信班

田中 義久（教育学部） 代表

松山 祐子（附属幼稚園）

佐藤 一幸（附属小学校）

藤元 公德（附属中学校）

加賀谷 紀（附属特別支援学校）

弘前大学教育学部研究紀要

ク ロ ス ロ ー ド

第 26 号（通巻第66号）

（2022年 3 月）

令和 4 年 3 月 8 日印刷

令和 4 年 3 月 24 日発行

編集兼発行者

弘 前 大 学 教 育 学 部

弘前市文京町1番地

電話（0172）36-2111(代)

印刷所 やまと印刷株式会社

弘前市神田4丁目4の5

電話（0172）34-4111

CONTENTS

PAPERS

- Practice of class improvement in health learning.....Hideto UENO et al (1)
- A Report of University Online Classes About Basketball Yoshifumi TOJO et al (15)
- Dental Health Education for School Student under COVID-19 Pandemic
~ Studies of Goshogawara Yogo Teacher
Organization in 2020 ~ Masumi ARAYA et al (23)
- A Record on “Experience and Support Practice of School Life in
Student and Teacher I (Primary)” under the
Spread of COVID-19 Shinji OHTANI et al (33)
- A Basic Study on the Prevention Program of Bullying in SNS:
Focusing on the Step in the Interpretation of the
Social Information Processing Model Hiroshi YOSHIHARA (45)
- Net Type: Volleyball lesson practice in high school..... Yuri SAWADA et al (53)
- Goal Type: Basketball lesson practice in high school
— Focus on Physical Competence — Go KIMURA et al (61)
- Development of subjects that correlatively enhance the
competencies in arts and crafts and programming education
~ Curriculum design that utilizes the perspectives
and ideas of each subject ~ Takayuki YASHIMA (69)
- A Study of “Deep Questions” in Learning Japanese Art Appreciation:
Focusing on Classroom Study of Ogata Korin’s Red
and White Plum Blossoms Yasuko MAKANAE (79)
- Consideration on the ideal way of teacher training to improve
moral-education teaching ability OJT approach through
“Rotation TT moral-education” practice Atsushi SASAKI (91)
- How to Work with Intellectual Disability Children
on Cotton Cultivation and Spinning..... Yohei KOEDA et al (101)
- The reflections of a practice “Kids Park Tomino” that combines
inclusive sports experiences in early childhood and
community-based school counseling Miki NAKAJIMA et al (109)
- A Study on the Setting Objectives and Evaluation for
Elementary Grade Students with Intellectual Disabilities:
Through the Use of Evaluation Charts Based on
The National Curriculum Standard for Special Needs
Education Schools Michi KAGAYA et al (117)
- A Study on the Teaching of Each Subject, etc. for Students
with Intellectual Disabilities Who are Enrolled in the
Curriculum Focusing on Independent Activities at a Special Needs
Education School for Children with Health Impairments:
Through the Use of Evaluation Charts Based on The National
Curriculum Standard for Special Needs Education Schools Chikako SATO et al (127)
- Based on the Setting and Evaluation of Teaching Goals Using the
“Course of Study Evaluation Table” for Children Enrolled in the
Curriculum of the Special Needs School for Physically Handicapped
Children Alternative to the Subject of Intellectual Disability, and
the Purpose of the Course of Study of the Special School Examination
of Lesson Making: Through Teaching Plan Making and
Lesson Practice of Life Unit Learning..... Norihito ISHIOKA et al (137)

RECORDS

..... (147)